





新たなステージに挑戦する 中期計画 STeP UP 2007

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

第90期(2004年4月1日～2005年3月31日)は、売上高は対前年度比6.9%、営業利益は28.5%、経常利益は33.5%、当期利益は37.1%のそれぞれ増加となりました。売上高、利益ともに過去最高を更新し、売上高は11期連続の増収、経常利益は5期連続の増益となりました。

中期計画「プロキューブ」振り返り

本年3月末までの中期計画プロキューブの3年間を振り返りますと、全体の売上高は年平均伸長率7%の伸びを達成しました。また、粗利益率は中期目標を大幅に上回る53.8%となり、この結果、営業利益も年平均20%近い伸びとなりました。

これは、企業風土改革の進展と、社内カンパニー制の定着により「商品開発のスピードアップ」、「事業構造の高付加価値化」、「徹底した

品質管理とコストダウン」を推し進めた結果によるものです。

また、これまでの3年間は、来るべき大きな飛躍に向けての基盤固めの時期であり、組織的にも、財務面でも、次のステージへの体制を整えてまいりました。この勢いを新しい中期計画にもつなげていきたいと考えております。

新中期計画「STeP UP2007」

新しい中期計画は、2007年度、売上高3000億円、営業利益630億円という新しいステージへの飛躍を目指します。

新たなステージに挑戦する決意を込めて「STeP UP(ステップアップ)2007」と名づけたこの新中期計画では、重点戦略として「既存ビジネスの進化」、「新しい治療システムの開発」、「カンパニーの発展」の3つを掲げました。当社の強みである、幅広い事業分野で培った技術力と技術融合力、医療現場に根ざした営業力や開発力を最大限に発揮し、事業成長のスピードを上げてまいります。

代表取締役
会長兼最高経営責任者 (CEO)

和地 孝

Solution : 「既存ビジネスの進化」

医療の安全性・経済性、また病院経営の効率化の面において、医療現場のニーズと既存の商品・サービスの間では、まだ充足されていないニーズが存在しております。医療現場に密着している当社の強みを活かし、そのニーズをいち早く見出し、医療関係者の方々が望む“安心して医療に専念できる”付加価値のある商品やサービスを提供してまいります。また、商品の提供だけではなく、医療従事者のみなさまに手術や注射のトレーニングの場を提供したり、病院内の業務プロセス改善や、医療の安全性や効率化を促進させるシステム提案などのソリューションを提供してまいります。

Technology : 「新しい治療システムの開発」

患者様の負担が少ない医療や治療効果を高める医療機器の開発を目指してまいります。

たとえば、予防医療や手術後の患者様の早期回復を促進させる新しい栄養療法など、未開拓分野にも挑戦してまいります。また、心臓血管領域では、現在開発段階にある左心補助人工心臓や心筋梗塞などの治療に用いるDEステント(薬剤溶出ステント)などを早期に商品化することを目指すと同時に、医療機器と薬剤の融合、あるいは再生医療との融合など、新たな治療分野にも積極的に参入してまいります。

STeP UP 2007

Professional : 「カンパニーの発展」

2003年に本格導入した社内カンパニー制をさらに発展させ、それぞれのお客様のニーズに応えられる専門性をさらに強化して、競争に打ち勝てるプロ集団へと深化させてまいります。また、グローバルな視点で、事業分野ごとに最適な事業戦略を立案・実行し、事業拡大のスピードアップと利益の最大化を実現してまいります。

これらの中期戦略を着実に実行することで、売上げと利益のさらなる成長を図る所存です。

なお、当期末の利益配当金につきましては、業績等を勘案し1株当たり4円の増配を行い、1株につき12円とさせていただきます。これにより、中間配当金1株につき8円とあわせ年間配当金は、1株につき20円となります。

株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役
社長兼最高業務執行責任者 (COO)

高橋晃





生活医療商品群 10.9%

25,008 百万円



<血糖測定器>

- ③ 腹膜透析液、血糖測定器、電子体温計など

糖尿病関連商品が引き続き売上げを伸ばしたことに加え、在宅酸素事業における酸素濃縮器などの新商品を投入したことにより、売上高は前年同期比で3.0%増加しました。

人工血管 2.7%

人工心肺システム 13.0%

カテーテルシステム 19.5%

心臓・血管領域商品群 35.2%

80,926 百万円

- ③ 血管造影用カテーテル、PTCAカテーテル、人工心肺システム、人工血管など

国内では、カテーテルシステムが大きく伸び、海外においてもカテーテルシステム、人工心肺システムを中心に売上げが好調で、売上高は前年同期比で14.0%増加しました。



<コロナリースtentシステム>

ホスピタル商品群 53.9%

124,068 百万円



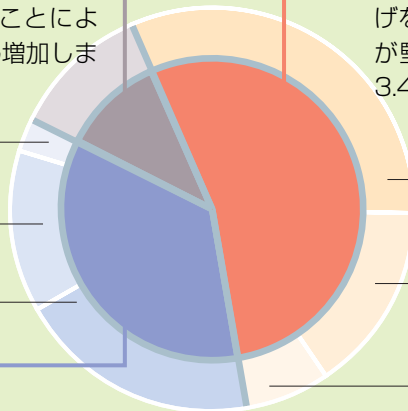
- ③ 注射器類、臨床検査器具類、<高カロリー輸液剤>高カロリー輸液剤、血液バッグなど

国内では高カロリー輸液剤、プレフィルドシリンジ、ME 機器や成分採血装置が売上げを伸ばす一方、海外では、輸血関連商品が堅調に推移し、売上高は前年同期比で3.4%増加しました。

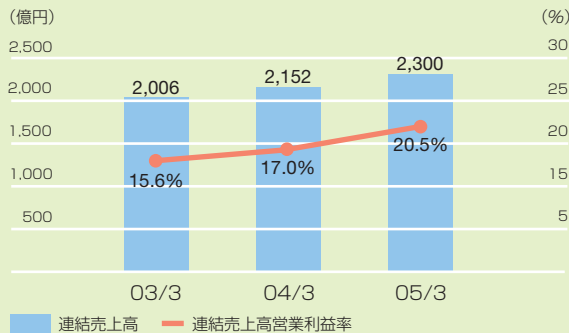
ホスピタル医療器 31.9%

医薬品類 15.2%

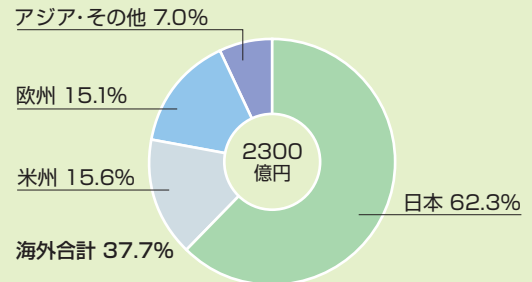
輸血関連 6.8%



連結売上高及び連結売上高営業利益率



地域別売上高比率



② 痛みの少ない注射針をめざして

先端わずか0.2ミリ、世界一極細のインスリン用注射針「ナノパス33」7月より出荷開始

糖尿病で体内の血糖コントロールを行うインスリンの分泌が不足すると、症状によってはインスリン製剤を1日に数回自己注射を行う必要があります。インスリン自己注射療法を行う方は国内でも約60万人[※]いますが、多くの方が針の痛さや怖さに抵抗感を持たれているのが現状です。

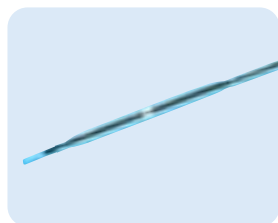
「ナノパス33」は先端がわずか0.2ミリで、従来一般的に使われているインスリン用注射針0.25ミリと比べ、およそ20%も細くなりました[※]。これにより注射の際の痛みを軽減することが期待できます。また、従来の針の構造では細くするにつれて注入抵抗が高くなりますが、世界初[※]の外径・内径をダブルテーパー構造にすることで、薬液を注入する際の抵抗を押さえることにも実現しました。

※当社調べ /「ナノパス33」はマイクロテーパー針のペットネームです。/販売名：マイクロテーパー針 医療機器承認番号：21500BZZ00189



「ナノパス33」

③ 狭心症・心筋梗塞の治療法にPTCAカテーテルを発売



「Ryujin Plus」[※]

PTCAは狭心症や心筋梗塞など、冠状動脈（心臓の筋肉に栄養を送る血管）が狭くなってしまった際に、PTCAカテーテルと呼ばれる直径1mm程度のチューブの先端につけたバルーンで押し広げる治療法です。現在日本では、年間17万症例のPTCAが行われています。

今回発売したテルモPTCAカテーテルRX-2は、細く曲がりくねった血管や、硬い病変部などの難しい症例にも使えるよう、カテーテル先端部は柔軟性を保ちながらも、つぶれにくい形状に仕上げています。

※Ryujin PlusはテルモPTCAカテーテルのペットネームです。/販売名：テルモPTCAカテーテルRX-2 医療機器承認番号：21500BZZ00732

④ オリnbasメディカルシステムズとの共同開発品、内視鏡下大伏在静脈剥離システム、北米にて発売

オリnbasメディカルシステムズ株式会社とテルモは、冠状動脈バイパス手術に使用する脚部の大伏在静脈[※]を内視鏡下で剥離、摘出するシステム「Virtuosaph」を開発、テルモが北米、一部のアジア地域で販売を開始いたしました。冠状動脈バイパス手術では、動脈硬化などにより心臓の表面にある冠状動脈が狭さくしたり、閉塞して起こる心筋梗塞を治療するために、胸部や脚から摘出した血管を縫合して、血流を改善させます。手術で血管を摘出すると、大きな傷が残りますが、この器具を使うと小さな傷ですみ、患者様の負担が少なくなります。



「ヴァートサフ」

※大伏在静脈（だいふくざいじょうみゃく）：太腿の内側、皮膚のすぐ下にある静脈。



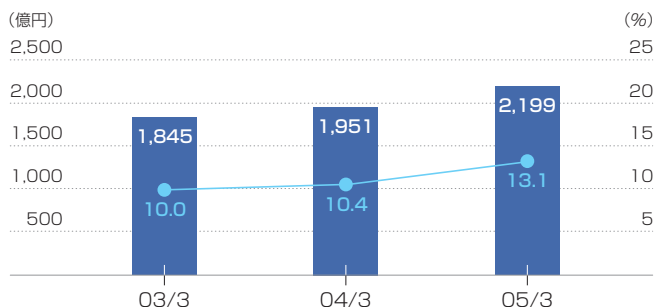
② 連結貸借対照表

前期：2004年3月31日現在
当期：2005年3月31日現在

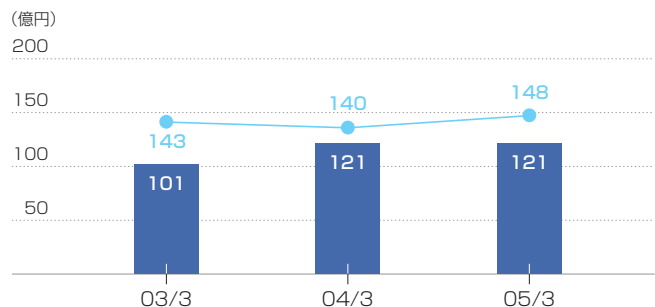
[単位：百万円]

科目	前期	当期
(資産の部)		
I 流動資産	142,559	161,504
現金及び預金	41,533	57,557
受取手形及び売掛金	58,211	60,809
たな卸資産	33,587	34,781
その他	10,249	9,342
貸倒引当金	△1,022	△987
II 固定資産	151,306	150,951
1.有形固定資産	109,415	107,042
2.無形固定資産	21,344	22,920
3.投資その他の資産	20,546	20,987
資産合計	293,866	312,455
(負債の部)		
I 流動負債	71,188	70,652
支払手形及び買掛金	20,888	21,810
短期借入金	16,308	8,539
1年内返済長期借入金	634	5,322
その他	33,357	34,980
II 固定負債	27,575	21,897
長期借入金	5,528	—
退職給付引当金	19,586	19,386
その他	2,460	2,510
負債合計	98,764	92,550
(少数株主持分)		
少数株主持分	26	32
(資本の部)		
I 資本金	38,716	38,716
II 資本剰余金	52,103	52,103
III 利益剰余金	131,880	155,501
IV 其他有価証券評価差額金	1,962	1,875
V 為替換算調整勘定	△8,242	△6,832
VI 自己株式	△21,344	△21,492
資本合計	195,075	219,872
負債、少数株主持分及び資本合計	293,866	312,455

③ 株主資本及び株主資本当期純利益率(ROE)



④ 設備投資額及び減価償却費



連結調整勘定償却額を除く

設備投資について

プレフィルドシリンジ事業の今後の拡大を見据え、専用生産棟の建設および富士宮工場において新たな生産設備の導入を行いました。海外ではアジア地域の工場に製造設備投資を継続的に進めており、低コストで安全性の高い製品の供給体制整備を進めております。フィリピン工場では、生産拡大のための工事に着手しており、注射器や注射針などの安全機構付医療機器の生産移管の準備を進めております。その結果、当期の設備投資額は121億円となりました。

② 連結損益計算書

前期：2003年4月1日～2004年3月31日
 当期：2004年4月1日～2005年3月31日

[単位：百万円]

科目	前期	当期
I 売上高	215,195	230,003
II 売上原価	104,903	106,238
売上総利益	110,292	123,764
III 販売費及び一般管理費	73,639	76,657
営業利益	36,652	47,107
IV 営業外収益	1,105	1,716
V 営業外費用	2,453	1,698
経常利益	35,304	47,125
VI 特別利益	339	544
VII 特別損失	1,901	4,016
税金等調整前当期純利益	33,743	43,653
法人税、住民税及び事業税	12,508	17,371
法人税等調整額(△減算)	1,473	△857
少数株主利益(△損失)	△31	5
当期純利益	19,792	27,134

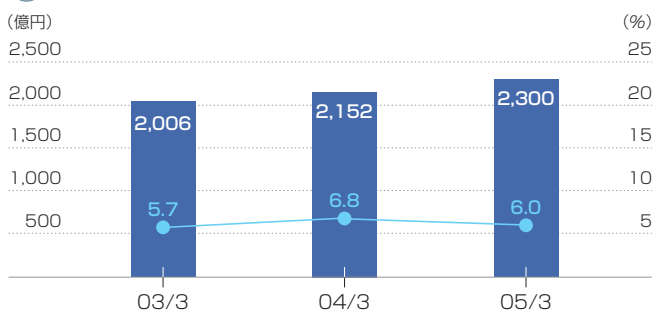
② 連結キャッシュ・フロー計算書

前期：2003年4月1日～2004年3月31日
 当期：2004年4月1日～2005年3月31日

[単位：百万円]

科目	前期	当期
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,496	43,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,638	△15,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,215	△12,343
現金及び現金同等物の期末残高	41,533	57,557

② 売上高研究開発費比率



② 連結剰余金計算書

前期：2003年4月1日～2004年3月31日
 当期：2004年4月1日～2005年3月31日

[単位：百万円]

科目	前期	当期
(資本剰余金の部)		
I 資本剰余金期首残高	52,103	52,103
II 資本剰余金期末残高	52,103	52,103
(利益剰余金の部)		
I 利益剰余金期首残高	114,740	131,880
II 利益剰余金増加高	19,792	27,134
当期純利益	19,792	27,134
III 利益剰余金減少高	2,652	3,513
配当金	2,504	3,372
取締役賞与	127	126
監査役賞与	20	15
IV 利益剰余金期末残高	131,880	155,501

売上高について

国内では、高カロリー輸液剤やプレフィルドシリンジなどが引き続き好調でした。また、心臓治療用のカテーテルをはじめとした新商品を適時、市場に投入したことにより大きく伸長し、総売上高は2,300億円で、前年同期比で6.9%増加しました。

営業利益について

高付加価値商品の売上げが伸長したことや、高い生産技術力を生かした商品の品質管理とコストダウンへの取り組み、アジア工場への生産移管などを積極的に進めたことにより、粗利益率が改善しました。さらに経費圧縮に努めた結果、営業利益は前年同期比28.5%増の471億円となりました。



② 個別貸借対照表

前期：2004年3月31日現在
当期：2005年3月31日現在

[単位：百万円]

科目	前期	当期
(資産の部)		
I 流動資産	112,976	128,795
現金及び預金	30,125	45,338
受取手形及び売掛金	52,618	55,483
たな卸資産	21,978	21,670
その他	8,907	6,949
貸倒引当金	△652	△645
II 固定資産	183,582	185,257
1.有形固定資産	85,211	83,001
2.無形固定資産	2,830	5,273
3.投資その他の資産	95,540	96,983
資産合計	296,559	314,053
(負債の部)		
I 流動負債	52,065	53,539
支払手形及び買掛金	19,908	20,969
短期借入金	5,500	—
一年以内返済予定長期借入金	—	5,000
その他	26,656	27,570
II 固定負債	24,630	19,391
長期借入金	5,000	—
退職給付引当金	18,803	18,490
その他	827	900
負債合計	76,696	72,930
(資本の部)		
I 資本金	38,716	38,716
II 資本剰余金	52,103	52,103
III 利益剰余金	148,424	169,919
IV 其他有価証券評価差額金	1,962	1,875
V 自己株式	△21,344	△21,492
資本合計	219,862	241,122
負債・資本合計	296,559	314,053

② 個別損益計算書

前期：2003年4月1日～2004年3月31日
当期：2004年4月1日～2005年3月31日

[単位：百万円]

科目	前期	当期
I 売上高	164,470	176,538
II 売上原価	83,132	84,769
売上総利益	81,337	91,769
III 販売費及び一般管理費	50,689	51,912
営業利益	30,647	39,857
IV 営業外収益	1,603	2,323
V 営業外費用	1,755	803
経常利益	30,496	41,377
VI 特別利益	352	7
VII 特別損失	697	1,826
税引前当期純利益	30,151	39,558
法人税、住民税及び事業税	10,751	14,828
法人税等調整額(△減算)	1,433	△277
当期純利益	17,967	25,007
前期繰越利益	45,672	60,313
中間配当額	1,399	1,586
当期末処分利益	62,239	83,734

② 利益処分

前期：2003年4月1日～2004年3月31日
当期：2004年4月1日～2005年3月31日

[単位：百万円]

科目	前期	当期
当期末処分利益	62,239	83,734
(利益処分数額)		
配当金	1,785	2,379
取締役賞与金	126	140
監査役賞与金	15	17
次期繰越利益	60,313	81,197

③ エドワーズライフサイエンス(株)より営業権譲受

人工心肺システム事業の強化・拡大を図るため、05年1月にエドワーズライフサイエンス株式会社より、日本国内における人工心肺関連事業を譲り受けました。これにより、テルモの人工心肺関連事業の世界シェアは31%に拡大し、世界の市場で第1位となりました。

③ 震災被災地への支援



現地救援センターに支援品を届ける当社社員

昨年10月の新潟県中越地震の際、点滴用の医療機器や体温計、血圧計、圧迫ストッキングなどを自治体や地元の病院を通じて寄贈しました。また、震災直後に、当社技術者が被災地域の病院を巡回し、輸液ポンプの点検、修理を行ないました。

一方、12月に発生したスマトラ沖地震の被災地には、感染症の予防・治療に使われる注射器や輸液セットなどの医療機器を寄贈いたしました。

③ 「ディスクロージャー表彰」受賞

当社は、東京証券取引所主催「第10回ディスクロージャー表彰」を受賞しました。

これは、投資家や株主の方々にテルモへの理解と信頼を深めていただくために、分かりやすい情報開示を行っていること、及びIR活動を経営の重要施策の一つと位置付け、その一環でテルモ四季報、環境・社会報告書を作成していることが評価されたものです。



ディスクロージャー表彰

③ 新テレビCM「プレフィルドシリンジ」篇の放映をスタート



現在放映中のテレビCMは、救急医療や医療事故防止に寄与するとして医療現場から高い評価をいただいている、薬剤充填済み注射器「プレフィルドシリンジ」を取り上げています。このCMは、阪神淡路大震災を経験されたドクターが、当社が開発した「プレフィルドシリンジ」をご覧になって、「あの震災の時に、このような製品があったら、もっと多くの患者さんが救えたのに…」と言われたエピソードに基づいて制作いたしました。

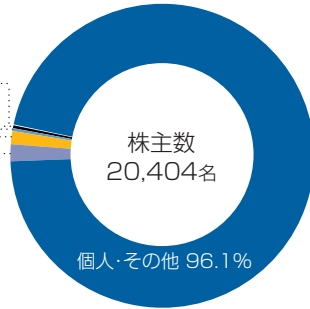
この言葉は開発者の心に強く響き、医療現場が求めるニーズにいち早く応えていこうという、その後のテルモの開発姿勢につながっています。

※このテレビCMは、毎週日曜日「健康天気予報」(TBS系列9局)で放送されています。



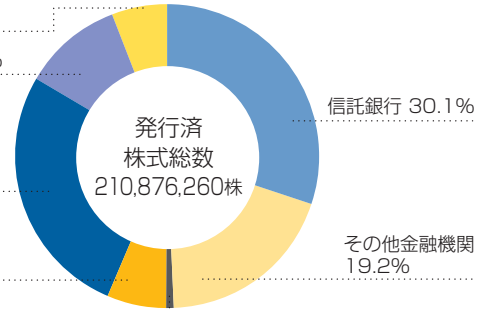
⇒ 株主数別状況

証券会社 0.1%
 信託銀行 0.3%
 その他金融機関 0.3%
 その他法人 1.4%
 外国法人等 1.8%

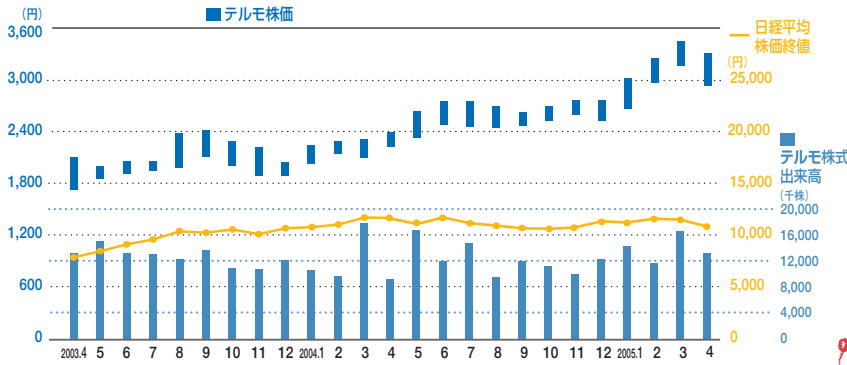


⇒ 株式所有者別状況

自己株式 5.9%
 個人・その他 10.6%
 外国法人等 27.1%
 その他法人 6.3%
 証券会社 0.8%



⇒ 株価チャート



発行する株式の総数 500,000,000株

発行済株式の総数 210,876,260株

期末株主数 20,404名

大株主10名	(単位:千株)	
	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	24,770	11.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	11,694	5.5
第一生命保険相互会社	9,806	4.7
東京海上日動火災保険株式会社	8,271	3.9
明治安田生命保険相互会社	7,258	3.4
株式会社みずほコーポレート銀行	4,675	2.2
株式会社東京三菱銀行	4,611	2.2
三菱信託銀行株式会社	3,831	1.8
財団法人テルモ科学技術振興財団	3,680	1.7
パークレイズ/バンクビーエルシー/パークレイズキャピタルセキュリティーズ	3,078	1.5

※当社は自己株式12,555千株を保有しておりますが、議決権がないため、上表より除外しております。

ホームページをリニューアルしました・・・
 (<http://www.terumo.co.jp/>)



投資家情報ページ

⇒ 会社概要 (2005年3月31日現在)

設立 1921年9月17日
資本金 38,716,355,747円
社員数 9,624名(単体4,057名)
事業内容 医薬品、栄養食品、血液バッグ、
各種使い切り医療機器、人工心肺システム、人工血管、
カテーテルシステム、腹膜透析関連、
血糖測定システム、ME機器・電子体温計等の製造・販売

事業所紹介

本社 東京都渋谷区
研究開発センター 神奈川県足柄上郡中井町
富士宮工場 静岡県富士宮市
愛鷹工場 静岡県富士宮市
甲府工場 山梨県中巨摩郡昭和町
(株) 医 器 研 埼玉県狭山市

国内販売拠点

札幌、盛岡、仙台、新潟、宇都宮、水戸、大宮、川越、千葉、松戸、東京、東京第二、東京第三、多摩、横浜、湘南、松本、静岡、名古屋、津、金沢、京都、大阪、堺、北大阪、神戸、岡山、広島、高松、松山、高知、福岡、北九州、大分、熊本、鹿児島、宮崎、沖縄

⇒ 役員 (2005年6月29日現在)

代表取締役 会長兼最高経営責任者(CEO)	和地 孝	取締役 取締役	野々山 徹	執行役員	大石 一穂
代表取締役 社長兼最高業務執行責任者(COO)	高橋 晃	執行役員	伊佐山 建志	執行役員	関根 健司
取締役専務執行役員	久呉 高博	執行役員	上杉 潔	執行役員	新宅 祐太郎
取締役常務執行役員	原 八郎	執行役員	宮口 勝彦	常任監査役(常勤)	三浦 滋
取締役常務執行役員	中尾 浩治	執行役員	梅津 親生	常任監査役(常勤)	多田 健治
取締役常務執行役員	松村 啓史	執行役員	知久 一雄	監査役	佐野 榮三郎
取締役上席執行役員	三村 孝仁	執行役員	竹内 保	監査役	杉崎 文男
取締役上席執行役員	小熊 彰	執行役員	野尻 知里		
取締役執行役員	二宮 正吾	執行役員	白石 義昭		
		執行役員	昌子 久仁子		
		執行役員	床波 範人		

(注) 1. 取締役野々山徹、伊佐山建志の両氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 監査役佐野榮三郎、杉崎文男の両氏は、「株式会社社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

海外生産拠点

テルモメディカル社(アメリカ メリーランド州)、
テルモヨーロッパ社(ベルギー ブラバント州/イギリス マージーサイド郡)、
テルモカーディオバスキュラーシステムズ社
(アメリカ ミシガン州、カリフォルニア州、メリーランド州、
マサチューセッツ州/メキシコ タマウリパス州)、
バスクテック社(イギリス グラスゴー)、
泰爾茂医療産品(杭州)有限公司(中国 浙江省杭州市)、
長春泰爾茂医用器具有限公司(中国 吉林省长春市)、
テルモフィリピンズ社(フィリピン ラグナ州)、テルモペンポール社(インド ケララ州)

海外販売拠点

[欧州]

テルモヨーロッパ社、テルモイタリア社、テルモスペイン社、
テルモ英国社、テルモスウェーデン社、
ラボラトワールテルモフランス社、テルモドイツ社、
バスクテック社(イギリス)、バスクテックドイツ社

[米州]

テルモメディカル社、テルモラテンアメリカ社、バスクテック米国社、
テルモカーディオバスキュラーシステムズ社、
テルモメディカル・ド・ブラジル社、テルモメディカル・デ・メヒコ社

[アジア]

テルモコリア社、テルモタイランド社、テルモインドネシア社、
テルモマーケティングフィリピンズ社、泰爾茂中国(香港)有限公司、
泰爾茂国際貿易(上海)有限公司、台北、シンガポール、
クアラルンプール、オーストラリア、ドバイ、チェンナイ

その他

テルモハート社(アメリカ ミシガン州)



決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年決算期の翌日から3ヵ月以内に開催します。
利益配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	毎年3月31日 ※その他必要がある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告して設定します。
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 ただし、貸借対照表および損益計算書は、当社ホームページ(http://www.terumo.co.jp/)に掲載。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 (郵便物送付・電話照会)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-707-696(フリーダイヤル)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式の数	100株

お知らせ

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますのでご利用ください。
- 配当金を郵便貯金口座へお振込することができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。

テルモ株式会社 (証券コード: 4543)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷二丁目44番1号
TEL.03-3374-8111 (代表)
URL <http://www.terumo.co.jp/>

Ⓜ、TERUMO、テルモ、Ryujin、Virtuosaphはテルモ(株)の登録商標です。
健康天気予報はテルモ(株)の商標です。